



昭和20年(1945)の三河地震による死者を記った和泉町向共同墓地の精霊碑と、震災直後に犠牲者の遺体が埋葬された場所とされているサツキの植え込み(安城市)



昭和20年(1945)の三河地震によって出現した深溝断層(幸田町)



じわれん

歴史地震記録に学ぶ 防災・減災ガイド

西三河編

先人たちが伝えようとしたことに、
耳を傾けてみんかの



減災さん



深溝松平家の祈願所・菩提所である本光寺と、昭和20年(1945)の三河地震等によって崩壊した本光寺の土塀(幸田町)



嘉永7年(1854)の安政東海・南海地震で倒れ、そのままになっていた常夜燈に代わって設置された権現崎灯台(碧南市)



嘉永7年(1854)の安政東海・南海地震の津波が押し寄せた記載のある大島八幡社の棟札(西尾市)



つなみん



※このパンフレットは、市町村誌や体験談集など地域に残る記録を参考に作成したものです



No	みよし市	碑史跡	エリア
1	神明社*		B2

No	知立市	碑史跡	エリア
1	萬福寺		B4

No	刈谷市	碑史跡	エリア
1	誓満寺*		A4
2	専称寺*		B4
3	刈谷駅付近		B4
4	松雲院*		B3

No	高浜市	碑史跡	エリア
1	青木町(旧高浜村字栗)付近		A4
2	正林寺		A4
3	寿覚寺		A4
4	専修坊		B4

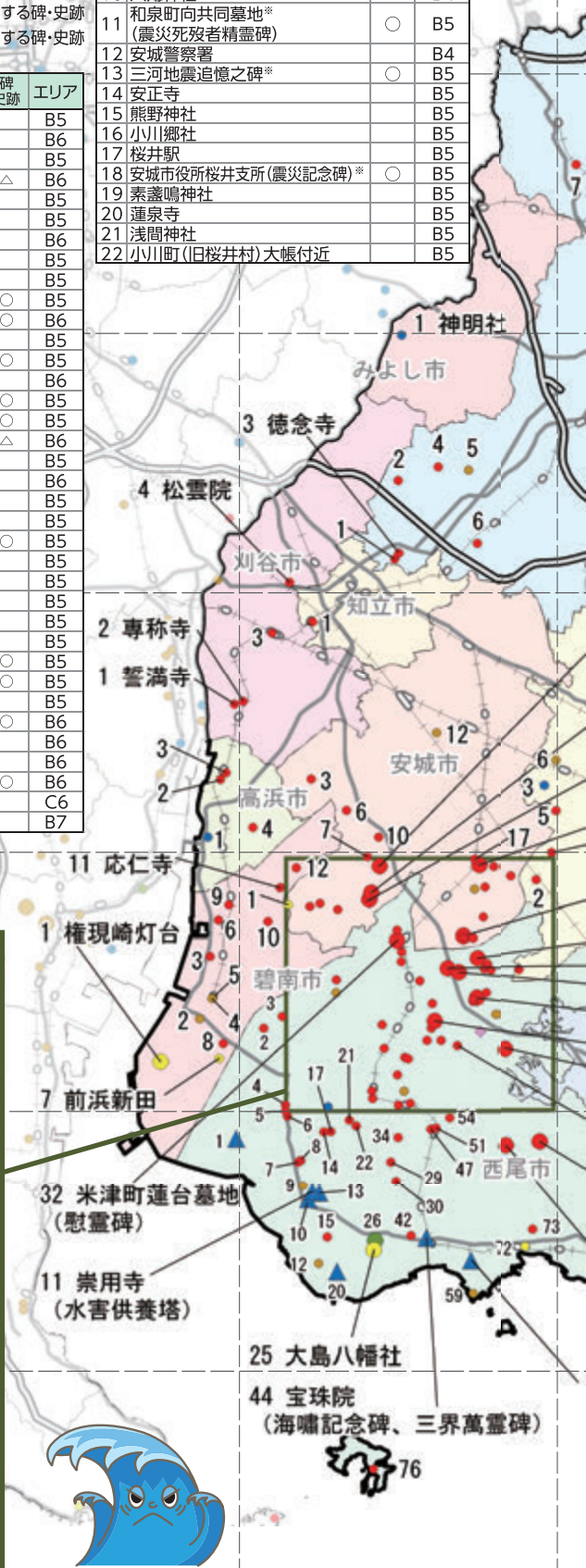
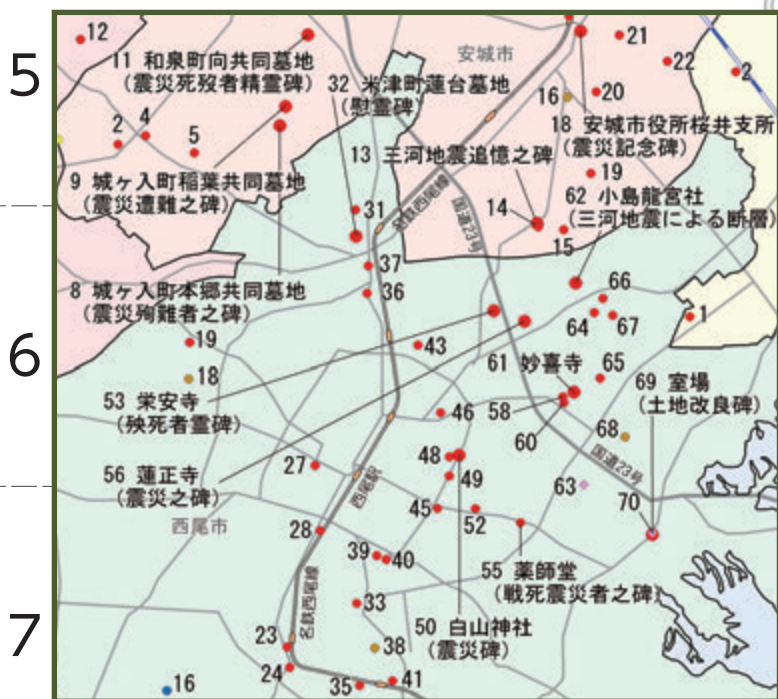
No	碧南市	碑史跡	エリア
1	権現崎灯台*	○	A5
2	大浜小学校		A5
3	熊野神社		A5
4	中町(旧大浜町塩取場)付近		A5
5	碧南駅		A5
6	藤秀寺		A5
7	前浜新田*		A5
8	稲荷社		A5
9	妙法堂		A5
10	神明社		B5
11	応仁寺*		B5
12	八剣神社		B5

No	安城市	碑史跡	エリア
1	油ヶ淵		B5
2	念空寺		B5
3	空臨寺		B4
4	明和小学校 (旧明治第三国民学校)		B5
5	八幡神社		B5
6	八剣神社		B4
7	丈山小学校 (旧明治第一国民学校)		B5
8	城ヶ入町本郷共同墓地* (震災殉難者之碑)	○	B5
9	城ヶ入町稲葉共同墓地* (震災遭難者之碑)	○	B5
10	八剣神社		B4
11	和泉町向共同墓地* (震災死者精霊碑)	○	B5
12	安城警察署		B4
13	三河地震追憶之碑*	○	B5
14	安正寺		B5
15	熊野神社		B5
16	小川郷社		B5
17	桜井駅		B5
18	安城市役所桜井支所(震災記念碑)*	○	B5
19	素盞鳴神社		B5
20	蓮泉寺		B5
21	浅間神社		B5
22	小川町(旧桜井村)大幡付近		B5

※:解説ページあり ○:地震に関する碑・史跡
◎:地震・津波に関する碑・史跡
△:高潮・波浪に関する碑・史跡

No	西尾市	碑史跡	エリア
1	伊勢湾台風復旧之碑	△	A6
2	恵琳寺		B5
3	中畑町南側付近		B5
4	寺津町南馬場付近		B5
5	巨海町佐巴付近		B5
6	端用寺		B6
7	一色町赤羽付近		B6
8	一色高校(旧中部国民学校赤羽別院)		B6
9	普元寺	△	B6
10	諏訪神社(十三号台風災害記念碑)	△	B6
11	崇用寺(水害供養塔)	△	B6
12	一色町生田竹生新田付近		B6
13	十三号台風記念碑	△	B6
14	行用町東屋敷付近		B6
15	良宣寺		B6
16	光明寺		B5
17	下道日記町山畔付近		B6
18	小間西側付近		B5
19	上町浜屋敷付近		B5
20	憶念寺(水害碑)	△	B6
21	不退院		B6
22	市子町下川田付近		B6
23	菱池町大道付近		B5
24	菱池町新田付近		B5
25	大島八幡社*	◎	B6
26	浄泉院(棟札)	◎	B6
27	薬師寺		B5
28	矢曾根町寺後付近		B5
29	八幡社		B6
30	養泉寺		B6
31	米津神社		B5
32	米津町蓮台墓地(慰霊碑)*	○	B5
33	浄徳寺		B5
34	玉照寺		B6
35	神明社		B5
36	新渡場町大西付近		B5
37	米津橋		B5
38	神明社 八幡社 天満宮 合殿		B5
39	嚴西寺		B5
40	今川町御堂東付近		B5

No	西尾市	碑史跡	エリア
41	蓮光寺		B5
42	吉田神社		B6
43	明専寺		B5
44	宝珠院(海嘯記念碑、三界萬霊碑)*	△	B6
45	丁田道東付近		B5
46	熊味観音寺		B5
47	光明寺		B6
48	徳次町地藏付近		B5
49	徳次町明大寺付近		B5
50	白山神社(震災碑)*	○	B5
51	春日神社(三河大地震之碑)	○	B6
52	法嚴尼寺		B5
53	栄安寺(歿死者霊碑)	○	B5
54	正向寺		B6
55	薬師堂(戦死震災者之碑)*	○	B5
56	蓮正寺(震災之碑)	○	B5
57	正法寺(津なみの標、高潮標)*	△	B6
58	江原町屋敷付近		B5
59	幡頭神社		B6
60	福浄寺		B5
61	妙喜寺		B5
62	小島龍宮社(三河地震による断層)*	○	B5
63	岡島遺跡		B5
64	小島山内付近		B5
65	江原神明社		B5
66	東禅寺		B5
67	安楽寺		B5
68	鍛神明宮(土地改良碑)	○	B5
69	室場(土地改良碑)	○	B5
70	室遺跡		B5
71	津平天神共同墓地(三河大地震追憶の碑)	○	B6
72	西幡豆町古浜(旧古浜新田)		B6
73	鳥羽町北迫(鳥羽山)付近		B6
74	津平文道共同墓地(震災供養碑)	○	B6
75	福泉寺		C6
76	一色町佐久島付近		B7



災害を今に伝える史跡など

岡崎市

三岡崎市の被災状況

岡崎市の過去の被災は、矢作川水系の水害が中心で、岡崎市街地は何度も浸水したことが岡崎市史に記されています。地震に関しては、明治24年(1891)濃尾地震の際に、多数の家屋倒壊、燈籠・記念碑の倒壊が発生しています。また、中之郷から六名に至る矢作川の堤防に亀裂が入り、安藤川堤防を始め各所に小穴損が発生しています。



昭和19年(1944)昭和東南海地震では矢作川鉄橋付近で東海道線の地盤が陥没し不通となったほか、紡績工場で外壁が倒壊し、女工16人が圧死したという目撃談があります。また矢作川の導水渠が破損し、取水が困難になりました。昭和20年(1945)三河地震では、矢作町、六ツ美町、福岡町で建物の全壊・半壊が発生しています。

●● 高橋用水路改修記念碑 地図 B4

所在地:岡崎市高橋町郷北
交 通:東部交通「下青野」より北西 約2km
この用水路は、取水対策として、昭和17年に導水渠が設置されました。しかし昭和19年(1944)昭和東南海地震、昭和20年(1945)三河地震により破損し、取水不能となりました。その後改修工事を行い、昭和33年に完成しています。



● 岡崎城 地図 C4

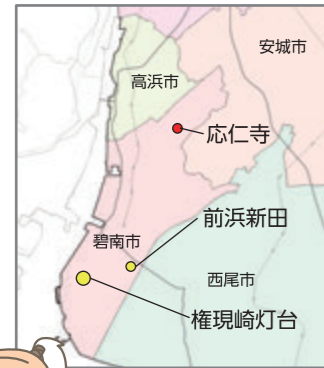
所在地:岡崎市康生町
交 通:名鉄名古屋本線「岡崎公園前」より北東 約500m
嘉永7年(1854)安政東海・南海地震時に岡崎では「御城破損」があり、矢作川の橋が4~5間(7~9m)にわたって沈下したとされています。



災害を今に伝える史跡など

碧南市・高浜市

三碧南市・高浜市の被災状況



この地域では、宝永4年(1707)宝永地震の際に、伏見屋新田(碧南市志貴崎町付近)の田畑、堤防、水門等がごとごとく壊れています。嘉永7年(1854)安政東海・南海地震の際には、碧南市の油ヶ淵周辺、前浜新田が沈下し、津波が襲来したとされています。

明治24年(1891)濃尾地震の際にも、油ヶ淵周辺が沈下しています。碧南市の西端、棚尾、鷺塚では建物の全壊・半壊があったほか、河川堤防が破損しています。

昭和19年(1944)昭和東南海地震の際には、碧南市の西端、旭、棚尾で建物が全壊・半壊しており、田などでは地割れ、泥水の噴出がありました。

昭和20年(1945)三河地震の際には、建物の全壊・半壊があり、碧南市の大浜地区、西端地区では倒壊家屋が多かったとされています。高浜市でも新田全般に地盤が沈下しています。

●● 前浜新田 地図 A5

所在地:碧南市前浜町
交 通:名鉄三河線「碧南」より南 約1.5km
嘉永7年(1854)安政東海・南海地震により、前浜新田の地盤が二尺(約60cm)以上沈下し、津波も襲来したとされています。また明治24年(1891)濃尾地震でも、地盤沈下が発生しています。



●● 応仁寺 地図 B5

所在地:碧南市油淵町
交 通:名鉄三河線「北新川」より東 約2km
応仁寺は嘉永7年(1854)安政東海・南海地震により本殿が倒壊、昭和20年(1945)三河地震では本堂が崩壊し、如光堂も倒壊しています。その後再建されました。



● 権現崎灯台 地図 A5

所在地:碧南市権現町4丁目
交 通:名鉄三河線「碧南」より南西 約3km
嘉永7年(1854)の安政東海地震で倒れたままになっていた常夜燈に代わり、昭和29年3月に設置された灯高12メートルの灯台です。



災害を今に伝える史跡など

刈谷市・知立市

三刈谷市・知立市の被災状況

刈谷市では、嘉永7年(1854)安政東海・南海地震の際には、建物の倒壊・破損、新田の堤防の大破、橋の沈下、道路の地割れが発生しています。

明治24年(1891)濃尾地震の際には、建物の全壊・半壊、新田の堤防の陥落、地盤沈下、道路の破損、井戸水の濁りなどが発生しています。

昭和19年(1944)昭和東南海地震の際には、建物の全壊・半壊、名鉄三河線の破損などが発生しています。

昭和20年(1945)三河地震の際には、建物の全壊・半壊、地盤沈下が発生しています。

このほか刈谷市では、地震後の大雨の度に水害に見舞われ、新田を中心に被害を受けています。

知立市では、昭和東南海地震、三河地震の際に、建物が全壊・半壊しているほか、昭和東南海地震の際には、道路・堤防等に亀裂が入るなどの被害を受けています。



● 誓満寺・専称寺 地図 A4,B4

所在地:刈谷市小垣江町
交 通:名鉄三河線「小垣江」より北西 約400m
「刈谷市史」には、昭和20年(1945)三河地震の際には、半潰家屋が多かったことが記されています。このうち小垣江では被害が大きく、誓満寺(写真)、専称寺をはじめ全壊100軒、半壊多数あったことが記されています。



● 松雲院 地図 B3

所在地:刈谷市恩田町
交 通:名鉄名古屋本線「一ツ木」より南 約1.5km
「愛知県歴史全集 寺院篇」には、昭和20年(1945)三河地震で、鐘楼堂が倒れたとの記載があります。



災害を今に伝える史跡など

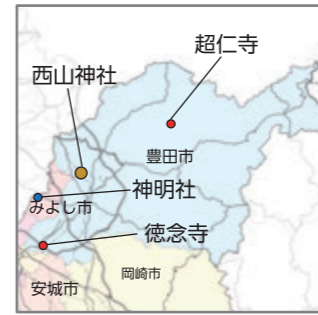
豊田市・みよし市

三豊田市・みよし市の被災状況

嘉永7年(1854)安政東海・南海地震は、この地域でも「前代未聞の大地震」と言われるほどのものであったようで、地元では「拳母大地震」として伝えられています。この地震の際には、家屋の全壊・半壊・大破、石灯籠の倒壊、矢作川をはじめ堤防の決壊・破損が起きています。

明治24年(1891)濃尾地震では、家屋が倒壊・傾斜するものがありました。昭和19年(1944)昭和東南海地震では、家屋の倒壊のほか、池の決壊が発生しています。

昭和20年(1945)三河地震では、矢作川流域を中心に被害が集中し、家屋の倒壊が多数ありました。なお、矢作川流域では、大雨による洪水・堤防破壊も数度発生しています。



●● 西山神社 地図 C2

所在地:豊田市若草町
交 通:おいでんバス「医療センター」より北西 約400m
昭和19年(1944)昭和東南海地震の際に、西山神社内の祠が倒壊しています。また、昭和20年(1945)三河地震の際にも被害がありました。



● 徳念寺 地図 B3

所在地:豊田市駒場町北
交 通:高岡ふれあいバス「駒場東口」より北西 約300m
徳念寺は名古屋市北区杉村小学校の児童が三方方面に集団疎開した際の分宿の1つでしたが、昭和20年(1945)三河地震によって建物が倒れ、2人の子供が亡くなっています。



● 神明社 地図 B2

所在地:みよし市西一色町メ林
交 通:さんさんバス「西一色」より北東 約300m
「愛知県神社名鑑」に、明治24年(1891)濃尾地震により、拝殿が倒壊したと記されています。



● 超仁寺 地図 D1

所在地:豊田市池島町戸神
交 通:おいでんバス「築平」より北西 約1.5km
「愛知県歴史全集 寺院篇」に、超仁寺は昭和20年(1945)三河地震及び集中豪雨などで被害が甚大なため、修復に尽力したことが記されています。



災害を今に伝える史跡など

安城市

三安城市の被災状況

安城市では、嘉永7年(1854)安政東海・南海地震の際には、堤防の沈下・亀裂・破損・崩壊があり、堤防が約1.5m~1.8m沈下したところもあります。田畑からの水の噴き出し・陥没、建物の倒壊、水門の破壊がありました。

明治24年(1891)濃尾地震の際には、建物の全壊・半壊、土地の亀裂・陥没がありました。油ヶ淵沿岸の新田一帯は地盤沈下し、翌年より水災は一層激しくなると伝えられています。

昭和19年(1944)昭和東南海地震の際には、建物の全壊・半壊のほか、道路の亀裂・陥没が発生しています。昭和20年(1945)三河地震の際には、建物の全壊・半壊が発生しています。



● 三河地震追憶之碑 地図 B5

所在地:安城市藤井町
交 通:あんくるバス「藤井東」より南西 約500m
昭和20年(1945)三河地震において、藤井地区では全人口611人(117戸)のうち77人が亡くなりました。この碑には、この世の生地獄そのものであったことが記されています。



● 和泉町共同墓地(震災死者精霊碑) 地図 B5

所在地:安城市和泉町向
交 通:市バス南部線「マーメイドパレス」より北東 約1.5km
昭和20年(1945)三河地震の記念碑です。碑の後ろにサツキの植え込みが整備されていますが、この場所は震災直後に、この地の犠牲者の遺体が埋葬された場所だと言われています。



● 安城市役所桜井支所(震災記念碑) 地図 B5

所在地:安城市桜井町大役田
交 通:名鉄西尾線「桜井」より南東 約200m
昭和20年(1945)三河地震の記念碑です。碑文には「殊に大字藤井部落は数戸を残して倒壊し暁暗不遇にして惨鼻を極め敗壞の相筆舌を超ゆ」と地震被害の状況が刻まれています。



● 城ヶ入町本郷共同墓地(震災殉難者之碑) 地図 B5

所在地:安城市城ヶ入町本郷
交 通:市バス南部線「本郷」より南西 約500m
墓地内に「震災殉難者之碑」があります。碑裏には昭和20年(1945)三河地震により亡くなった15人の氏名が刻まれています。



● 城ヶ入町稲葉共同墓地(震災遭難者之碑) 地図 B5

所在地:安城市城ヶ入稲葉
交 通:市バス南部線「本郷」より西 約300m
墓地内に昭和20年(1945)三河地震の「震災遭難者之碑」が建立されています。碑には地区の被害の状況が記されているほか、「遭難者ノ尊イ犠牲に依り今日迄生ヲ長エタ事ニ関シ深く感謝シテ遭難者ノ霊ヲ慰メル可ク」と、犠牲者への感謝と慰霊のためという碑の建立目的が記されています。





ちよっと足を延ばすと...
半田市

- 追憶之碑(雁宿公園)
- 殉職者諸精霊之碑(北谷墓地) などもあります

ちよっと足を延ばすと...
蒲郡市

- 地割れ(宗徳寺)
- わすれじの碑(形原神社) などもあります

No	豊田市	碑史跡	エリア
1	極楽禅寺		B3
2	大島町付近		B3
3	徳念寺*		B3
4	満徳寺		B3
5	神明宮		B3
6	真淨宮		B3
7	射徳神社		C2
8	西山神社*		C2
9	超仁寺*		D1
10	山谷町付近		D2

No	岡崎市	碑史跡	エリア
1	小園神社		B5
2	神明社		B5
3	金剣神社		B4
4	高橋用水路改修記念碑*	○	B4
5	神明社		B4
6	新堀町付近		B4
7	安養坊		C4
8	岡崎城*		C4
9	龍海院		C4

No	幸田町	碑史跡	エリア
1	広坪遺跡		C5
2	深溝断層*	○	C5
3	幸田駅		C5
4	撓曲崖		C6
5	東光寺遺跡		C6
6	本光寺*	○	C5

凡例

○ 地震・津波関係

碑史跡 被害記録ありのみあり

- 宝永4年(1707)宝永地震
- 嘉永7年(1854)安政東海・南海地震
- 明治24年(1891)濃尾地震
- 昭和19年(1944)昭和東南海地震
- 昭和20年(1945)三河地震
- その他(年代不明を含む)

◇ 遺跡調査時に確認された地震痕跡(砂脈・噴砂)

▽ (断層)

★ (地割れ)

▲ 高潮、波浪関係

災害を今に伝える史跡など

※この地図は、主に市町村誌や体験談等を参考に、地震に関する碑・史跡や、被害記録がある地点をプロットしたものです。



ちよっと足を延ばすと...
形原神社(蒲郡市)

ちよっと足を延ばすと、蒲郡市に形原神社があります。ここには、三河地震の犠牲者の霊を慰め、かつ、後の世の戒めとしたい、という有志の願いが結集して建てられた「わすれじの碑」があります。この「わすれじの碑」では、東日本大震災のあと、地域の災害をもう一度思い起こそう、との思いから、三河地震発生の日に近い成人の日に、慰霊祭が行われるようになりました。

雁宿公園、北谷墓地(半田市)

ちよっと足を延ばすと、半田市に雁宿公園や北谷墓地があります。ここには、昭和東南海地震の犠牲となった方々を追悼する碑がいくつかあります。

地震時の状況のいくつか
(三河地震の体験談より)

「ガシャーン!! というものすごい音で目がさめました。あたりは漆黒のやみようでありました。からだを動かそうとしても、自分の足が言うことを聞きません。...国民学校(現在の小学校)四年生であった私が、地震によってわが家が倒壊したことを理解するまでに、かなりの時間がかかりました。...私のふとんの上に母のたんすが倒れ、その上に、二階のかもいがのしかかっていたのであります。...」<西尾市>

地震時の状況のいくつか
(昭和東南海地震の体験談より)

「お昼前だった。...その時グラッ、グラッ来た。ハッと見て東の門を見た時、続きの横屋共々、南北にゆさゆさ揺れている。アッ、と思った。その中に立っていただけで、右に左に地面がまるでシーソーをやっているように...手を突いてもまた転びそう。...今にも倒れそうなくらい揺れている...」<高浜市>

「二人の男の子と家の中に居ますと、突然大きな地震でした。二人の子供と共にアワテテ外へ走り出しました。私達が家の中より走り出て、五メートル位の距離になった時、屋根瓦が落ちて来ました。もう少し我々の待避が遅れて居たら、屋根瓦の集中落下を浴びて、即死か、大怪我をした事でしょう。...」<豊田市>

「私は中学一年生。午後一時頃学校の教室で国語のかきとりをしていました。突然教室ががたがた音を立てて、右左にゆれて居る。...ようやく外に出たが、地めんが大きく割れて居る。運動場がめりめりと音をたてて地割が出来た。池の水が、だばんだばんと大きく右左にゆれて居る。こわくて声も出なかった。...」<豊田市>

「私の居た所は鹿乗川の堤防の東三十米位の田の中だったが、目を西の方に向けておどろいた。...鹿乗川の堤防が海の波のように波打ってこっちに寄せて来るのがはつきりと目にうつった。波の高さは一米前後で、波と波との距離は百米位だった。...堤防の波は間もなく小波となり、さきなみとなって元の一本の線にもどった。...」<安城市>

- 防災・減災のための 一口メモ**
- 地域の被災傾向を知って、地震に備えましょう。
 - 地域の地名の由来を知って、災害危険箇所を掴んでおきましょう。
 - 先人の声(警鐘)に耳を傾けて、過去の地震の教訓を防災・減災行動に生かしましょう。
 - 地震後の大雨、洪水、高潮などによって、複合災害が起きています。地震以外の災害にも注意しましょう。
 - 現代の有益なサービス(緊急地震速報、地域のメールサービスなど)を利用して、落ち着いて行動しましょう。
 - 地震の際の危険な箇所を知って、避難行動に生かしましょう。
 - 被災時には、まずは自分の身は自分で守りましょう。被災後は地域の方々と協力しましょう。

関連情報

- この地域の歴史地震を調べる際には、図書館や、西尾市岩瀬文庫などの公開文庫のほか、幸田町の郷土資料館も役に立ちます。
- 地震の際の体験談がまとめられています。
「地震体験記録集一関東大震災・東南海地震・三河地震一」(愛知県)
「東南海地震 三河地震 体験談集一大地震に備えて一」(西尾市)
「わすれじの記 一三河地震による形原の被災記録一」(三河地震記念事業奉賛会)など
(愛知県図書館、西尾市立図書館などでご覧いただけます)
- 愛知県では、県民の皆さまがインターネット上で簡単に大地震の際の自宅(木造)の様子の映像を観たり、地域の防災情報等を得たりすることができる「防災学習システム」を公開しています。
<http://www.quake-learning.pref.aichi.jp>

この資料について

この資料は、「地域に残る地震の記録」などを知っていただき、地震をより身近に感じていただくことを通じて、県民の皆さまが防災・減災を考えていただくきっかけになれば、との思いから作成されたものです。この資料を作成するにあたり、下記の方々のおかげで多くの皆様のご協力・ご助言をいただきました。記して感謝の意を表します。

〈作成協力〉 [歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド委員会] 委員長:武村 雅之 委員:加藤 規博 隈本 邦彦 栗田 暢之 近藤 ひろ子 佐藤 克彦 (敬称略) 鈴木 康弘 都築 充雄 服部 俊之 廣井 悠 福和 伸夫 溝口 常俊 護 雅史 山中 佳子(50音順で記載)

